

これまでの研究、現在取り組んでいる研究は以下の通りです（25年10月時点）。

1. フードシステム研究

- (1) フードシステムの理論、国際比較
 - (2) 卸売市場、食品流通
 - (3) 食農専門職業組織
 - (4) 食育
 - (5) 畜産業、茶業
 - (6) 福島の復興農業

2. 食の社会学

- (1) 人文社会科学における食の主題化
 - (2) 食の豊かさ、食の貧困
 - (3) シングルマザーの食生活

3. 東アジア食文化論

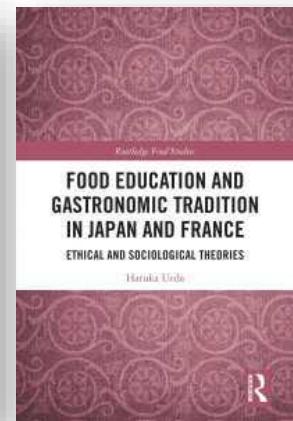
- (1) 石毛直道の生涯と思想
 - (2) 茶の東アジア史
 - (3) 食の圧縮近代論とアジア
 - (4) 日本料理の体系と思想

4. 食思想、食の哲学・倫理学

- (1) 自然観、環境倫理
 - (2) 茶道思想
 - (3) 肉食／菜食思想
 - (4) 道元禅師の食思想
 - (5) 栄養思想
 - (6) 味覚思想、ガストロノミの思想



昭和堂, 2023



Routledge, 2022



「善き食生活」とは何か――

「食育」を育児として、营养学や伝統・自然など多様な指针が混在するいま、
どの道を歩く「食育」をどう再定義するかが問われている。
社会学と营养学を結び合わせて「食育在能力」の考え方を提示し、

日本食文化の歴史的考察と現代の食生活調査から、私たちの食生活を問い直す力作

価格(本体5,400円+税) 名古屋大学出版会

名古屋大学出版会, 2024



昭和堂 2025

*書籍書影の掲載は許可取得済み 転載はご遠慮ください